

いつも、インシデント報告ありがとうございます

2017.3.22

京大病院医療安全情報87

【アレルギー薬の登録の複雑性】

事例①<フリー入力の落とし穴>

患者よりペニシリン系薬剤でアレルギーが出現したことを聞き取ったが、具体的な薬剤名が分からないため、フリー入力で「ペニシリン」と登録した。入院中に、ペニシリン系薬剤であるスルバシリンが処方された。⇒裏面参照

事例②<アレルギー登録薬のすり抜け>

嘔気の訴えがあったため、病棟の常備薬からペラプリンを服用してもらった。その後ペラプリンがアレルギー登録されていることに気づいた。患者に実害はなかった。⇒裏面参照

事例③<適切に登録されていない>

アルコールアレルギーのある患者にパクリタキセル（添加物としてアルコールを含有している）が処方された。薬剤指導の際、患者からの聞き取りで判明し、中止となった。カルテにはアルコールアレルギーであることの記載はあったが、アレルギー薬として登録されていなかった。⇒裏面参照

事例④<アレルギーと副作用の勘違い>

アレルギー登録されている抗生剤を患者が服用していた。確認すると、以前服用して下痢をしたことがあるとのことであった。
⇒アレルギー登録しないでください。

正しいアレルギー登録の方法は？

アレルギー登録しても禁忌チェックがかからない場合とは？

インシデント報告に基づいた対策です

京大病院医療安全情報

薬剤アレルギーの登録画面を変更しました！

①アレルギー登録ボタンがわかりやすくなりました！

患者基本情報1 患者アレルギー 患者プロフィール1 患者プロフィール2

アレルギー／副作用

薬アレルギー あり なし **登録** 食物アレルギー あり なし **登録** その他アレルギー あり なし **登録**

②入力画面がわかりやすくなりました！

代表的な薬剤についてはボタンを作成

例えば、ペニシリン系を登録すれば、院内にある全てのペニシリン系薬剤に対してアレルギーチェックがかかります。

処方薬、注射薬をまとめて検索可能に

フリー入力を避ける旨の注意喚起を記載

※造影剤アレルギーは患者プロフィールの「放射線安全情報」から入力して下さい。検査オーダー後に、アレルギー歴のある患者向けの同意書が発行されます。

【禁忌チェックがかからないもの（代表例）】

- フリー入力で登録した薬剤
 - 薬剤のオーダーをせず使用する場合（手術部での使用、処置薬での使用など）
 - 常備薬を使用する場合
 - アルコール消毒不可の場合のチェック
- 不明な場合は、薬剤師にご相談ください。医療安全管理室・薬剤部作成